

プラスチック消費の抑制行動に関する研究 —大学生に対する調査とナッジを用いた実験から—

安藤ゼミ 高橋 舞

問題関心

レジ袋の有料化、紙袋・紙ストローの導入

→→プラスチック消費への意識・行動が変化している？

研究目的

- ① プラ消費抑制行動を促進・抑制する要因を明らかにする
- ② 心理的要因を活用した実験により効果的なナッジを探る

「ナッジ(nudge)」

…金銭的な付与なく、あくまでも自発的に行動変容を促す手法

Ex) プラストローではなく紙ストローを配布している(デフォルトの変更)

プラスチック抑制行動の規定因に関する調査

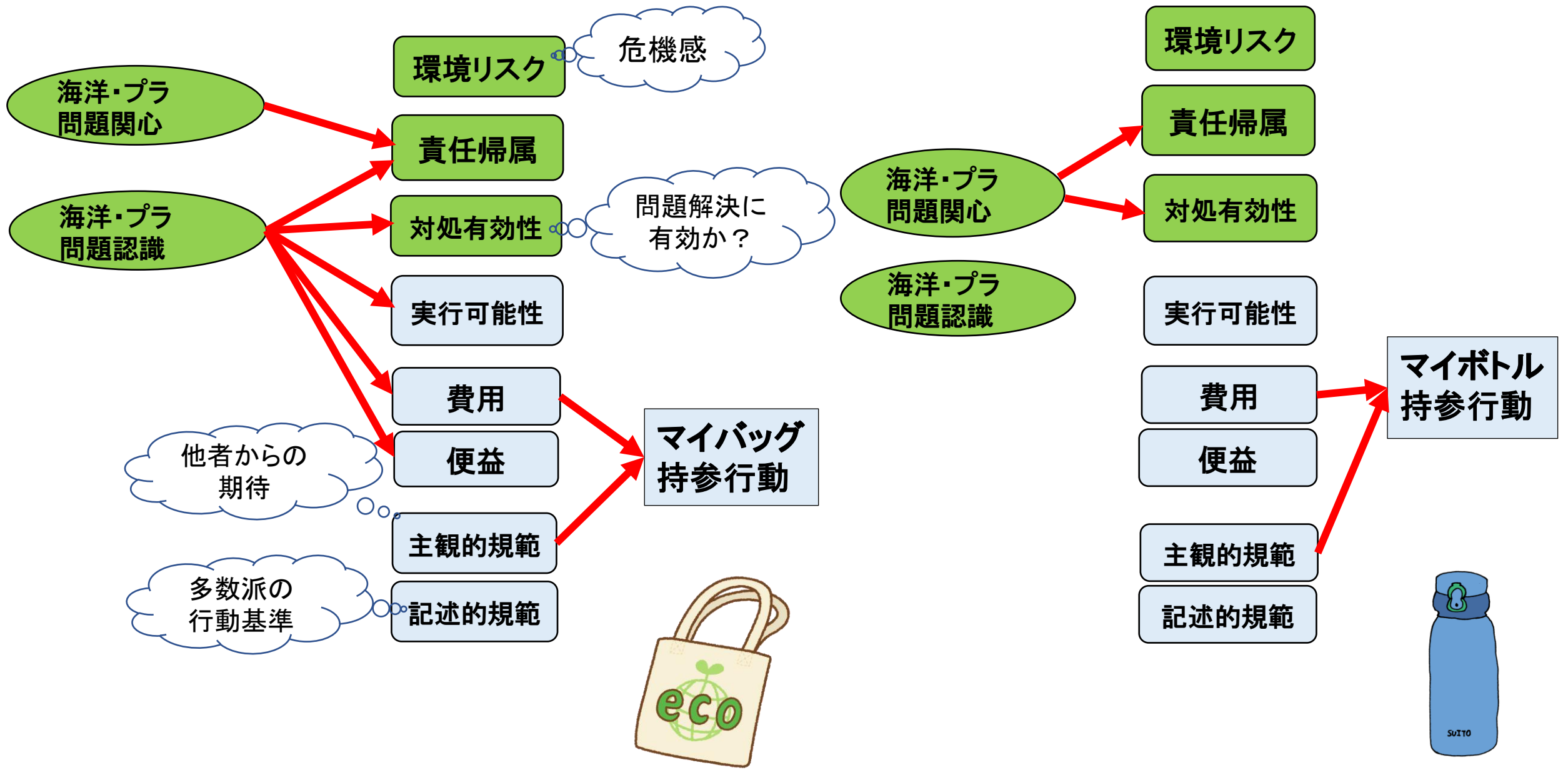
【目的】

マイバッグ持参行動およびマイボトルの持参行動に影響を及ぼす要因やそれらの関連性を明らかにする

【方法】 大学生男女80名を対象とし、Googleフォームにて質問紙調査

【質問項目】 ・マイバッグ・マイボトル持参行動の心理的規定因について
・マイバッグ・マイボトル持参行動の頻度
・海洋環境問題・プラスチック問題に対する関心や認識

調査 仮説と結果



考察

①主観的規範評価は行動に影響を及ぼす

→持参行動は他者の目に触れるため、規範に影響を受けている？

②費用評価は行動に影響を及ぼす

→持参行動による利便性より、わずらわしさや手間のほうが感じやすい？

③海洋・プラ問題の認識・関心はプラ消費の抑制行動の認識と相関がある

→高い認識や関心を抱く人ほどプラ抑制行動の意識は高いが、行動と関連なし

マイボトルの使用に関するシナリオ実験

【目的】

マイボトル持参行動の行動意図の変容に効果的なナッジを明らかにする

【対象】 アンケート会社モニター男女300名

【方法】 3種類の異なるナッジと同じ質問項目を含んだ質問紙調査を配布。
質問内容は3つとも同じ。

【ナッジ】

①社会規範の情報提示 ②便益費用の情報提示 ③環境保全の情報提示

①社会規範のナッジ

「日本人の2人に1人は、マイボトルを利用しています」



②便益費用のナッジ

「1日1本のペットボトル購入をやめるだけで
年間5万円節約できます！」



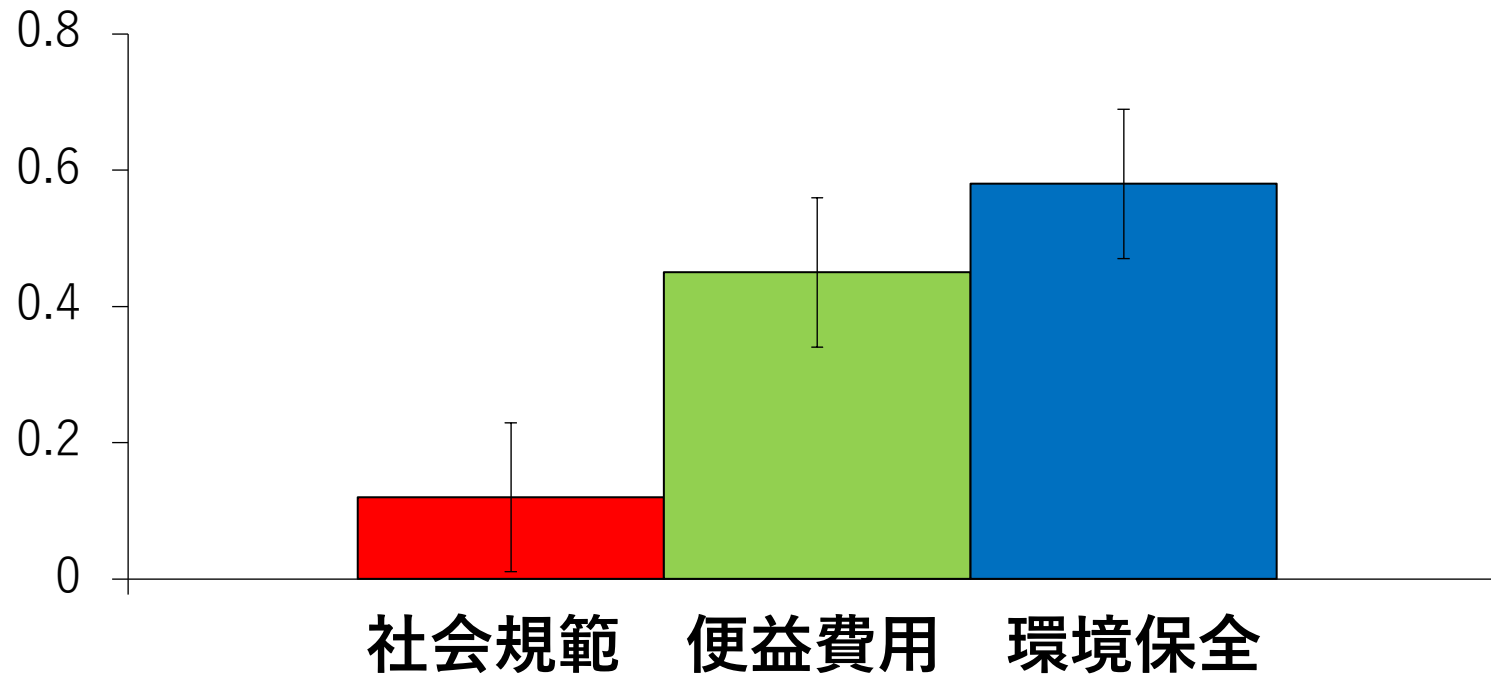
③環境保全のナッジ

「マイボトルを使って、プラごみ削減に貢献しませんか？」



3種類のナッジ効果の比較

情報提示前後での行動意図の差



行動意図の変容がもっとも大きかったのは**環境保全**の情報提示であった

ナッジ効果の実験考察

社会規範の情報提示は効果的ではなかった。

→ 対象とした人の属性が広く、2人に1人という割合もインパクトが弱い

環境保全のナッジがもっとも効果的。

→ プラ消費による海洋ごみの問題の深刻性をシンプルに伝える写真でインパクトが強く、共感を得た？

日本人の2人に1人は、
マイボトルを利用しています



マイボトルを使って、
プラごみ削減に貢献しませんか？



ご清聴ありがとうございました